

## 日中バイオマスフォーラムの講演原稿

特定非営利活動法人日中産学官交流機構事務局長 柳瀬豊昭

2005 年 11 月 15 日

日中バイオマスフォーラムを開催するに当たり、共催者に日中産学官交流機構を代表して、一言ご挨拶させていただきます。

日中産学官交流機構は昨年 11 月に正式設立された、新しい組織でございます。日中産学官交流機構はその名の通り、企業や大学、研究機関、加えて政府、及び政府関連機構等、産・学・官のあらゆる分野の人々の英知を結集し、日中両国の新たな発展のために活動する団体でございます。

日中産学官交流機構では、都市創新、医学・ライフサイエンス、ロボット研究、知的財産権、等、多岐にわたる分野における交流を促進いたしておりますが、加えてバイオマスを含む環境・農業・エネルギー分野での交流もその大きな柱の一つとして、重要テーマと考えております。

日中産学官交流機構は、このように幅広い領域に於いて、日中両国にとって重要な課題を取り上げ、その解決の道を探って行きたいと考えております。また、その成果を日中両国の社会の進化と生活の質の向上とにつなげ、活力と人間性豊かな社会の実現に結実させることを目指しております。

さて、本日の日中バイオマスフォーラムは、日本の省庁連携により推進されているバイオマスジャパンの活動を、アジアの各国、とりわけバイオ資源を豊富に有する中国と連携を深め、国家の枠組みを超えたグローバルな視点でもって、大きく発展させるべく、開催されるものと理解いたしております。

とりわけ、バイオマス資源の活用を、中国あるいは広く東アジア全体を大きなネットワークで考えてゆくことによって、解決を図ってゆくことが、その大きな目的と考えられます。本フォーラムはその意味で、本日ご参加いただいております両国の産学官の皆様の大きな期待を背負っているといつて、過言ではないでしょう。

本日は日本から、バイオマスに関わる産業界、研究機関、政府の各界の代表的な皆様方のご参加を戴いており、技術分野・研究分野・政策分野の各分野における、有意義な議論を今後是非とも展開していただけるものと考えております。

日中産学官交流機構はこのような交流活動を推進し、さらに活動を積み重ねていくことによって、日中両国の新しい未来を切り開いていきたいと考えております。またその使命を担っていると確信いたしております。本フォーラムでは、従来の日中交流を超えた、新次元の枠組みが生まれることを期待して止みません。

本フォーラムに於きまして、日中間の新たなパートナーシップが構築できることを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。